



インダストリアルデザイナー 米田 充彦氏

プロフィール (よねだ・あつひこ)
1978年兵庫県生まれ。98年より(株)東芝デザインセンター、
2009年よりサムスン電子ジャパン(株)デザインチーム勤務。
16年ATSUHIKO YONEDA DESIGNを設立し、新しい
ビジネスを育てるインキュベーションやデザインコンサル
を行っている。

Interview

未来社会をデザインするためには 精緻なもののづくりが欠かせない

デザインというと、皆さんは製品の見栄えを美しく見せることを思い浮かべるかもしれない。しかし私たちデザイナーはもっと広義に捉えています。社会を俯瞰しながら、次の時代はどうシフトしていくべきなのか。来るべき社会を描いてプロトタイプینگし、それを世に問う。デザインとは社会の仕組みや世の中の常識を変革し、未来を創造する活動なのです。

私はかつてインハウスデザイナーとして家電製品のデザインに携わっていました。洗濯機や冷蔵庫をデザインしていました。素材にはラミネート鋼板や塗装鋼板が使われてきました。しかし私は素材本来の質感とエコで無駄のない、これまでにないものづくりにこだわりました。電気亜鉛めっき自体に防錆性や意匠性を付与できれば、素材の質感を活かした、そのまま仕上げ材として使用できる意匠性鋼板ができるのではないかと考えたのです。

私には現在、さまざまな家電製品に使われてきた日本製鉄のビューコートについて、次の社会に向けて新たな可能性を提示するデザインにも携わっています。カーボンニュートラル社会、ポストコロナ時代においては、今までの部材加工後に塗装するのではなく、塗装のいらぬビューコートを使い、エコと機能を両立したものづくりを一層実現していく必要があると思っています。家電製品などの筐体はもちろん、例えばマイクロモビリティやテレワークブースなど新しい用途も拡大するでしょう。その先のお客様が未来を想像しやすいように、今までの暮らしや社会よりも上質さを感じていただけるようなデザインを追求しています。

「モノからコトへ」と言われて久しいですが、私は最終的に「コトからモノへ」になると考えています。未来を創造するためには、結局モノへと落とし込んでいかなければなりません。その先の社会を具現化していくのは、デザイナーであり、技術力のあるものづくり企業だと思っています。(談)

ビューコート®

プレコート鋼板

新しいライフスタイルを演出する



日本製鉄が提案するビューコート® 使用例



EV用充電器



会議ブース

日本製鉄のプレコート鋼板ビューコート®は、冷蔵庫や洗濯機、AV機器、エアコン室外機など、さまざまな家電・OA電子機器の筐体外装に使われてきました。さらに来るべきカーボンニュートラル社会、ポストコロナ時代に欠かせない製品の部材として、これからも新しいライフスタイルを演出していきます。



家庭用蓄電池

環境性

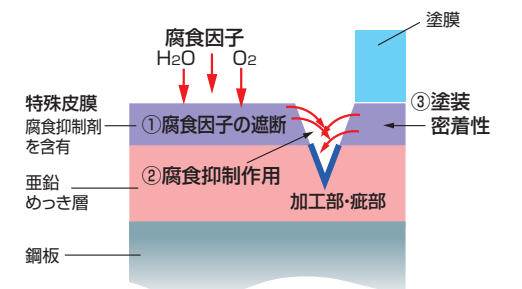
VOCやCO₂の排出抑制に貢献

ビューコートは鋼板表面にあらかじめ高機能な塗装を施した製品です。ビューコートを使用することで、家電メーカーなどは、組立加工するだけで最終製品を完成させることができるようになります。また、ビューコートの使用は、メーカーでの塗装工程の省略による生産性の向上、および環境負荷物質であるVOC(揮発性有機化合物)やCO₂の排出抑制に貢献します。

耐食性

クロメートフリー皮膜が錆を防ぐ

ビューコートは塗装前の鋼板表面に亜鉛めっきを施しています。亜鉛は自ら先に錆びる犠牲防食によって、鉄が錆びることを防ぎます。さらに亜鉛めっきの上には、塗装密着性を向上させる目的で化成処理を行っています。化成処理には環境負荷物質であるクロメートを使わないクロメートフリー皮膜を使用しています。クロメートフリー皮膜で覆われた亜鉛めっき鋼板の上に塗装を行うことにより、優れた塗装密着性と耐食性を実現しています。



機能性

多彩なラインアップ

日本製鉄は独自の塗膜設計によって、汚れを洗い落とせるセルフクリーニングタイプ、ほこりの付着を防ぐ帯電防止タイプ、疵が目立たないゆず肌調、熱を逃す高吸熱タイプなど、求める用途に合わせてさまざまな機能特性を持つビューコートを開発しています。